

平成25年度 事業報告書

社会福祉法人熊本市社会福祉協議会

目 次

第 1	総括	1
第 2	重点推進項目別の概要	1
第 3	事業別の実施状況	
	■法人運営部門	2
	■地域福祉活動推進部門	8
	■福祉サービス利用支援部門	19
	■その他の事業	22
	■南区事務所における事業	23
	■南区城南支所における事業	24
	■北区事務所における事業	25
	■介護保険事業所における事業	26
	■南6地域包括支援センターにおける事業	28
	■養護老人ホーム愉和荘における事業	30

平成25年度熊本市社会福祉協議会事業報告

第1 総括

近年、個人のライフスタイルの変化や単身世帯の増加に加え、地域コミュニティーの機能が低下したことにより、既存の福祉制度では対応が難しい複雑・多様化した生活課題や福祉課題が増加しております。

また、雇用情勢や経済情勢も若干回復の兆しが見え始めたものの、生活困窮世帯の増加も社会問題となっております。

このような中で、平成25年度は「地域福祉活動の推進」「地域福祉推進のための基盤整備」「政令市社協としての地域福祉活動の推進」の3つの重点目標を掲げ、校区社協・民児協をはじめ行政や福祉関係団体と連携し、地域福祉活動のさらなる充実・強化を進めてまいりました。

また、生活困窮者に対しては、生活困窮者自立相談支援モデル事業の委託を受け、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するための相談支援事業を実施しました。

平成25年度も「誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり」の更なる発展に向けて、以下のとおり各種事業を展開しました。

第2 重点推進項目別の概況

1 法人運営部門

法人運営については、会務の適切な運営に向けて、法人運営の基本会議である理事会・評議員会の他、各種委員会を開催し、円滑な事業の決定及び事業の執行を図りました。

財務については、年々厳しさを増す財政状況のなか、更なる経費節減に努めるとともに社協の重要な財源である、社協会費募集・赤い羽根共同募金運動につきましても、地域住民をはじめ自治会長、各種福祉団体・ボランティア団体・企業等のご協力のもと、社協の自主財源の確保に努めました。

2 地域福祉活動推進部門

「第2次熊本市地域福祉活動計画」は、地域福祉活動の推進とそれを支えていくための基盤整備の基本目標から構成されており、これからの市社協の役割と推進体制の展開方針のもとで体系的に示しています。

平成25年度においては、「誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に、住民相互の連携強化、地域福祉活動を担う人材育成、住民主体の地域福祉活動のための仕組みづくりの3つの柱を中心に取り組みました。

住民相互の連携強化では、校区社会福祉協議会を中心として開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げ支援や実践者への研修会の開催、「災害時要援護者支援」では要援護者の避難支援体制構築を図るため、地域団体への説明会をはじめ関係機関との連絡調整等様々な支援を行いました。

また、高齢者や障がい者の施設等と「福祉避難所等の設置運営に関する協定」を締結し、災害時における避難支援体制の強化を図りました。

地域福祉活動を担う人材育成では、市民の自主的な参画や支え合いによる地域づくりを促進するため、地域ニーズに添ったボランティア講座を始め、各種研修事業等を実施しました。

住民主体の地域福祉活動のための仕組みづくりでは、福祉施設を拠点とした地域福祉活動並びにボランティア活動の推進を図り、高齢者の仲間づくりや健康づくり、生きがいつくりの拠点を設置し、日常生活を通じた交流・相談支援の体制づくりを行いました。

平成25年度は、新たな取り組みとして、介護予防推進のための「基幹型元気はつらつサロン」事業を展開し、高齢者の元気づくりのサポートを積極的に行うとともに、ボランティア活動に興味がある若者を対象に「くまもと学生ボランティアネットワーク事業」を再構築し、更に大学生・社会人ワークキャンプ事業を実施しました。

3 福祉サービス利用支援部門

地域福祉権利擁護事業においては、認知症高齢者や精神障がい者等で判断能力が十分ではない方が、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように、行政や地域包括支援センター、民児協等関係機関と連携を図りながら事業を推進いたしました。

また、政令市移行を期に実施主体として、新たに医療・法律・福祉等各分野の専門職から構成される「契約締結審査会」での助言を得ながら、契約者に対して適正で円滑な支援が行えるよう事業の展開を図りました。

生活福祉資金の貸付事業においては、低所得世帯、高齢者の属する世帯、障がい者世帯等の自立に向けた支援を民生委員・児童委員や他の関係機関との連携を図りながら事業を推進してまいりました。

離職者支援のワンストップサービスとして、臨時特例つなぎ資金、総合支援資金の相談受付を行いました。

貸付件数及び貸付金額は、ここ数年で減少傾向となっておりますが依然として生活困窮者の存在は大きな社会問題です。各関係機関と密に連携を図りながら、総合的な相談援助ができるよう努めてまいりました。

第3 事業別の実施状況

法人運営部門

I 幅広い協議体としての責任ある運営

1 信頼性の高い事業運営

(1) 理事会

ア 第1回理事会 平成25年5月24日（金） 出席 13名

(ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成24年度事業報告について

(イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成24年度決算報告について

- (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会会長専決規程の制定について
 - (オ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
 - (カ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会評議員の選任について
- イ 第2回理事会 平成25年10月9日(水) 出席 16名
- (ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会副会長の選任について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会評議員の選任について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
 - (エ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について
 - (オ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会役員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- ウ 第3回理事会 平成26年2月6日(木) 出席 14名
- (ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会定款の変更について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会理事及び評議員選出規程の一部改正について
 - (エ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会評議員の選任について
 - (オ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
- エ 第4回理事会 平成26年3月12日(火) 出席 15名
- (ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成26年度事業計画について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成26年度収入支出予算について
 - (エ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会会長専決規程の一部改正について
- (2) 評議員会
- ア 第1回評議員会 平成25年5月24日(金) 出席 34名
- (ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成24年度事業報告について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成24年度決算報告について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
 - (エ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会理事の選任について
- イ 第2回評議員会 平成25年10月9日(水) 出席 27名
- (ア) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補

正予算について

- ウ 第3回評議員会 平成26年2月6日(木) 出席 31名
- (7) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会定款の変更について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会監事の選任について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
- エ 第4回評議員会 平成26年3月12日(火) 出席 29名
- (7) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成25年度一般会計収入支出補正予算について
 - (イ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成26年度事業計画について
 - (ウ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会平成26年度一般会計収入支出予算について
 - (エ) 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会役員の選任について

(3) 監査及び指導監査

- ア 監査 平成25年5月17日(金)
- ・平成24年度事業報告及び一般会計収入支出決算について
- イ 指導監査 平成25年12月19日(木)
- ・社会福祉法人指導監査

(4) 委員会

- | | | |
|---|-------------------|-----|
| ア | いきいき市民福祉基金運営委員会 | 3回 |
| イ | ボランティアセンター運営委員会 | 2回 |
| ウ | 生活福祉資金貸付調査委員会 | 9回 |
| エ | 福祉金庫審査委員会 | 1回 |
| オ | 地域福祉権利擁護事業契約締結審査会 | 12回 |

2 広報

(1) 熊本市社協だより「いきいき福祉すまいる」の発行

<事業内容>

広報紙を発行し、社協事業等の情報提供を行い、福祉意識の啓発に努めました。

- ・発行回数 年2回、タブロイド版カラー8頁
- ・発行部数 307,500部(熊本市内全戸配布)

3 各種会議等への参加

<参加状況>

- ア 平成25年度第1回九社連地域福祉委員会
- イ 平成25年度九州各県・指定都市社会福祉協議会業務部課長会議
- ・期日 平成25年4月16日(火)～17日(水)
 - ・場所 セントラルホテルフクオカ
 - ・参加者 1名

- ウ 平成25年度都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議
 - ・期 日 平成25年4月24日(水)～25日(木)
 - ・場 所 全国社会福祉協議会・灘尾ホール
 - ・参加者 2名
- エ 第56回大都市社会福祉施設協議会
 - ・期 日 平成25年6月13日(木)～14日(金)
 - ・場 所 ANAクラウンプラザホテル神戸
 - ・参加者 1名
- オ 平成25年度社会福祉協議会活動全国会議
生活困窮者自立促進支援モデル事業に関する情報交換・共有会議
 - ・期 日 平成25年7月4日(木)～5日(金)
 - ・会 場 ホテルセントラーザ博多
 - ・参加者 4名
- カ 平成25年度指定都市社協・民児連連絡会議
 - ・期 日 平成25年7月16日(火)～17日(水)
 - ・場 所 京都ロイヤルホテル&スパ
 - ・参加者 2名
- キ 平成25年度広報力強化セミナー
都道府県・指定都市指定都市社協広報担当者会議
 - ・期 日 平成25年7月16日(火)～17日(水)
 - ・場 所 全国社会福祉協議会
 - ・参加者 1名
- ク 平成25年度都道府県・指定都市社会福祉協議会常務理事・事務局長セミナー
 - ・期 日 平成25年7月25日(木)～26日(金)
 - ・場 所 全社協ロフォス湘南
 - ・参加者 1名
- ケ 平成25年度九州各県・指定都市社会福祉協議会事務局長会議(前期)
 - ・期 日 平成25年9月9日(月)
 - ・場 所 ホテルグランデはがくれ(佐賀市)
 - ・参加者 1名
- コ 平成25年度九州各県・指定都市社会福祉協議会総務部課長・職員研究会議
 - ・期 日 平成26年1月28日(火)
 - ・場 所 宮崎観光ホテル
 - ・参加者 2名
- サ 平成25年度都道府県・指定都市社会福祉協議会常務理事・事務局長会議
 - ・期 日 平成26年1月31日(金)
 - ・場 所 全国社会福祉協議会
 - ・参加者 1名
- シ 平成25年度熊本県内市社会福祉協議会事務局連絡会議
 - ・期 日 平成26年1月23日(木)～24日(金)
 - ・場 所 上天草市総合センターアロマ

- ・参加者 1名
- ス 平成25年度九州社会福祉協議会連合会理事会
- ・期 日 平成26年2月18日(火)
- ・場 所 ホテルロイヤルオリオン(那覇市)
- ・参加者 1名

4 職員の人材育成

(1) 職場内外の課題別専門研修への参加

(2) 階層別職員研修への参加

<参加状況>

ア 「生活支援戦略」と「社協・生活支援活動強化方針」を学ぶ市区町村社協職員研修

- ・期 日 平成25年6月1日(土)
- ・場 所 九州ビル(福岡市)
- ・参加者 1名

イ 平成25年度公正採用選考・人権・同和問題啓発推進員研修会

- ・期 日 平成25年9月5日(木)
- ・場 所 熊本県立劇場
- ・参加者 1名

ウ 平成25年度市区町村社協会計担当者等研修会

- ・期 日 平成25年9月6日(金)
- ・場 所 熊本交通センターホテル
- ・参加者 3名

エ 社会福祉協議会における新会計基準移行研修会

- ・期 日 平成25年11月24日(金)
- ・タイム24(東京都)
- ・参加者1名

オ 平成25年度熊本市社会福祉協議会職員研修会

- ・期 日 平成25年11月26日(火)
- ・場 所 メルパルク熊本
- ・参加者 全職員

カ 平成25年度熊本市社会福祉協議会新規採用職員研修会

- ・期 日 平成25年12月2日(月)～13日(金)
- ・場 所 熊本市社協
- ・参加者 3名

キ 平成25年度新任職員研修会

- ・期 日 平成25年12月3日(火)～4日(水)
- ・場 所 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 2名

ク 医療・福祉・人権を考える集い

- ・期 日 平成25年12月7日(土)
- ・場 所 熊本市健軍文化ホール
- ・参加者 1名

ケ 平成25年度市区町村社協経営基盤強化研究会議

- ・期 日 平成25年12月16日（月）
- ・場 所 熊本全日空ホテルニュースカイ
- ・参加者 2名

コ 平成25年度社会福祉法人法令関係研修会

- ・期 日 平成26年3月7日（金）
- ・場 所 ホテル熊本テルサ
- ・参加者 1名

4 地域福祉財源の増強

- (1) 共同募金運動への協力
- (2) いきいき市民福祉基金助成事業

<事業内容>

熊本市と熊本市社協が共同出資で創設した基金5億2千万円の運用益を、ボランティア活動等を行う団体等に対し助成しました。

〔受取利息配当金収入に対する助成金支出の状況〕 (単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
当該年度の受取利息配当金収入	8,084	7,923	7,423
公募による助成金支出	1,162	828	1,593
助成金支出割合	14%	10%	21%
社協自主事業への助成金支出	14,950	19,033	5,050
助成金支出割合	185%	240%	68%

5 財務の強化

- (1) 寄付金及び会員の募集

寄付金収入のうち、多くの金額を占める香典返し寄付金は、市民の皆さまの善意により寄付をいただきました。また、会費収入におきましては、厳しい社会情勢の中、市民の皆様をはじめ各種団体、企業等のご協力により昨年度実績とほぼ同額の寄付をいただきました。

〔寄付金収入と会費収入〕 (単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
寄付金収入	9,847	9,469	19,047
会費収入	2,682	3,056	3,031
正会員収入	1,350	1,413	1,407
賛助会員収入	1,332	1,643	1,624
合 計	12,529	12,525	22,078

- (2) いきいき市民福祉基金の運用

熊本市と市社協が共同出資で創設した5億2千万円の基金を、低金利の中で高い収益が期待できる国債等により安全且つ確実な運用を図りました。

〔受取利息配当金推移〕

(単位：千円)

受取利息配当金収入	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	8,084	7,923	7,423

地域福祉活動推進部門

I 住民相互の連携強化

I 住民相互の連携強化

1 地域福祉のコーディネート

(1) 校区社会福祉協議会の育成と支援

熊本市社協では、91小学校区に設立された校区社会福祉協議会を23か所のブロックに分け、各区事務所（5区）の職員が最新の福祉情報の提供や研修を行い、地域に根ざした様々な地域福祉活動が積極的に推進できるよう支援を行いました。

(2) 熊本市民生委員児童委員協議会との連携強化

熊本市民生委員児童委員協議会の組織改編に伴い、事務委託契約を締結し、相互の更なる連携強化を図りました。

(3) ふれあい・いきいきサロンの推進

<事業内容>

ひとり暮らしの高齢者等と、地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、みんなで話し合いながら活動内容を決め、ふれあいを通して生きがいつくり・仲間づくりの輪を広げたり、地域の健康づくり（介護予防）の拠点として機能する活動がふれあい・いきいきサロン活動です。

このサロン活動では、校区社会福祉協議会を中心に地域ボランティアと民生委員児童委員、地域の福祉・医療機関といった関係者が協力し合い、平成25年度は、79校区417か所で定期的に開催されました。熊本市社協では、サロン活動を立ち上げる各校区社会福祉協議会に対し、運営の方法や関係機関との調整、ボランティアの確保並びに活動プログラム作成への助言等の支援を行いました。

〔ふれあい・いきいきサロン実施状況〕（単位 上段：校区／下段：か所）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
校 区 数	80	78	79
実施箇所数	349	399	417

(4) 基幹型元気はつらつサロンの運営

<事業内容>

介護リスクの高い高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に、認知症予防や運動器機能向上、メンタル面の向上を図ることを目的に、熊本市老人福祉施設協議会所属の施設（特別養護老人ホーム9施設）に協力をいただき、平成26年1月から、月1回のペースで基幹型元気はつらつサロンを実施しました。

<実績>

参加延べ人数 379名

(5) 元気づくり応援サポーター養成事業

<事業内容>

基幹型元気はつらつサロンの運営をサポートし、参加高齢者の話し相手や日常生活支援に結びつけるボランティアの登録制度を新設し、高齢者の元気づくりを支援する体制づくりを強化しました。

養成研修会を終了したサポーターが基幹型元気はつらつサロンに参加し、運営のサポートを行っています。

<実績>

第1期生 25名、第2期生 19名

(6) 高齢者元気づくり推進研究会

ふれあい・いきいきサロンの効果分析や課題点の検証、本市における介護予防のあり方についてなど、調査・研究を行うため、学識者や行政、介護予防実践者、各種団体で構成する「高齢者元気づくり推進研究会」を設置しました。

<実績>

研究会設置日 平成25年7月26日(金)

研究会開催 年3回(7月、11月、3月)

(7) ふれあいランチ給食サービス事業

<事業内容>

地域内の見守り活動の一つとして、在宅の高齢者等に対し、給食サービスを提供することで、利用者とボランティアとのふれあいや交流を促進し、高齢者等を地域で見守るネットワークづくりへの支援に繋がっています。

〔ふれあいランチ給食サービス実施状況〕 (単位 上段：校区/下段：食)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
校区数	27	30	29
延べ配食数	15,725	18,252	19,610

(8) 災害時要援護者支援(熊本市受託事業)

<事業内容>

災害時に自力で避難が困難な方々を地域で支える避難支援プランを作成し、日頃の見守り活動と連動した支援体制の構築を図っています。

〔新規登録状況〕

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
登録者数	3,616	5,525	9,732	9,153	8,741	8,112
プラン完成数	233	384	7,322	8,813	8,519	8,079

〔災害時における福祉避難所等の設置運営に関する協定〕

災害が発生した際に、体育館等の一般の避難場所で避難生活が困難な方々を支援するため、高齢者や障がい者施設等の関係機関と災害時における福祉避難所等の設置運営に関する協定を締結しました。

熊本市社会福祉協議会は、協定の効率的な運用に向けての協定者間の連絡

調整や福祉避難所から要請があった場合に、看護師等の専門職やボランティアの人材を派遣する役割を担うようになりました。

<災害時における福祉避難所等の設置運営に関する協定締結機関>

- ① 熊本市老人福祉施設協議会
- ② 熊本県特定施設入居者生活介護事業者連絡協議会
- ③ 熊本県コロニー協会
- ④ 熊本県身体障害児者施設協議会
- ⑤ 公益社団法人熊本県精神科協会

	協定者	施設数	収容人数
1	①熊本市 ②熊本市老人福祉施設協議会 ③熊本市社会福祉協議会	市内62施設	693名
2	①熊本市 ②熊本県特定施設入居者生活介護事業者連絡協議会 ③熊本市社会福祉協議会	市内26施設	227名
3	①熊本市 ②熊本県コロニー協会 ③熊本市社会福祉協議会	市内1施設	20名
4	①熊本市 ②熊本県身体障害児者施設協議会 ③熊本市社会福祉協議会	市内6施設	200名
5	①熊本市 ②公益社団法人熊本県精神科協会 ③熊本市社会福祉協議会	市内1施設	15名
6	①熊本市 ②熊本県知的障がい者施設協会 ③熊本市社会福祉協議会	市内29施設	300名

⑥ 熊本県知的障がい者施設協会

* 団体数 6 団体 * 施設数 125 施設 * 収容人数 1,455 名

(9) 福祉避難所協力員養成事業

災害時における福祉避難所等設置運営に関する協定に基づき、福祉避難所から専門職やボランティア等の人的派遣要請があった際に、迅速かつ効率的に対応できる体制を整え、福祉避難所での要援護者の避難生活を支援するため、福祉避難所協力員を養成しました。

<実績>

- ・登録者29名（専門職11名）

(10) ジュニアヘルパー養成事業（熊本市受託事業）

<事業内容>

熊本市内の中学生をジュニアヘルパーとして養成し、登下校や休日等を利用して、地域の一人暮らし等の高齢者宅を訪問し、声かけやお話を行うことにより、見守り活動と世代間交流を行いました。

また、中学生ジュニアヘルパーを経験した卒業生が中心となり、高校生ボランティアサークルKFFを設立し、広報誌の発行や中学生へのアドバイスを行っています。

〔ジュニアヘルパー実施状況〕

(単位 上段：校/下段：名)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
中学校数	10	28	37
登録者数	261	601	599

* 認知症サポーター養成講座修了者数 155名

〔高校生ボランティアサークルKFF登録状況〕

	平成25年度
高校数	9
登録者数	12

* 広報誌ジュニアヘルパー便り 年2回発行(9月、2月)

Ⅱ 地域福祉活動を担う人材育成

1 地域におけるボランティア活動の推進

(1) ボランティアコーディネートの充実

＜事業内容＞

様々なボランティアニーズに対応するため、ボランティアコーディネーターが、依頼者と活動者のニーズに合った活動の調整を行いました。

〔ボランティア相談件数〕

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
来所相談	719	1,509	436
電話相談	1,211	2,528	4,700
合計	1,930	4,037	5,136

〔ボランティアコーディネート件数〕

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
依頼数	108	210	256
派遣数	106	364	396

(2) ボランティア登録者数

＜事業内容＞

個人登録者及びボランティア団体、企業・学校等に対し、支援を行うため登録状況の把握に努めました。

〔ボランティア登録・把握者数〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
個人登録	256	355	436
グループ登録	4,204 (102団体)	7,048 (88団体)	20,187 (87団体)
合計	4,460	7,403	20,623

* 熊本県看護協会14,000名の登録含む

(3) 地域のニーズに添ったボランティア講座

<事業内容>

学校、病院、企業、地域からの依頼に応じて、職員・ボランティアアドバイザーが講師となり、ボランティアに関する講演や体験学習を行い、ボランティア活動の意識向上とボランティア育成及び活動推進を目的に実施しました。（内容：車いす、手話、点字体験学習。障がいについての講話等）

〔職員派遣回数〕

（単位：回）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
小学校	3	5	9
中学校	1	3	1
高校	0	0	0
その他	2	6	4
合計	6	14	14

(4) ワークキャンプ事業

<事業内容>

次代を担う小学生・中学生・高校生及び大学生・社会人を対象に、福祉施設等での体験学習、施設利用者とのふれあいを通じて、福祉への関心を深めるとともに、ボランティアに対する意識の高揚を図ることを目的に実施しました。

〔高校生ワークキャンプ参加者数 58名(13校)〕

	実施施設	実施形態	参加者数
1	パウラスホーム	通所型	6名
2	リデルライトホーム	通所型	3名
3	湧心苑	通所型	4名
4	バラ苑	宿泊型	6名
5	ハーモニー	宿泊型	5名
6	くまもと江津湖療育医療センター	通所型	8名
7	ゆめの里	宿泊型	5名
8	青翔苑	通所型	2名
9	聖母の丘	通所型	4名
10	みゆき園	宿泊型	3名
11	天寿園	宿泊型	1名
12	力合つくし庵	通所型	2名
13	くわのみ荘	宿泊型	4名
14	さわらび	宿泊型	2名
15	チャレンジめいとくの里	宿泊型	3名

【参加高校内訳】尚綱6、熊本信愛女学院4、開新4、熊本4、熊本西10

九州学院12、熊本北4、熊本農6、熊本国府3

熊本第一1、千原台2、ルーテル学院1、熊本工1

〔中学生ワークキャンプ参加者数 69名(1校)〕

	実施施設	実施形態	参加者数
1	城南学園	通所型	69名
2	第二城南学園		

【参加中学校】下益城城南中学校

〔小学生ワークキャンプ参加者数 53名(3校)〕

	実施施設	実施形態	参加者数
1	祥麟館	通所型	12名
2	くまむた荘	通所型	5名
3	桔梗苑	通所型	12名
4	光乃里	通所型	24名

【参加小学校】豊田小学校17、隈庄小学校12、杉上小学校24

〔大学生・社会人ワークキャンプ参加者数 6名〕

	実施施設	実施形態	参加者数
1	あいこう	通所型	6名

(5) ボランティア情報誌「ニーズ通信」の発行

<事業内容>

ボランティア活動に対する理解を深めてもらうため、ボランティアセンター登録者及び関係機関・コンビニ等に配布し、ボランティア活動の情報提供に努めました。

ア 発行回数 毎月1回、A4版

イ 発行部数 1回につき3,000部

(6) くまもと市民ボランティア週間事業への協力

<事業内容>

熊本市内のボランティア活動者が一堂に集い、広く市民に対し市民活動・ボランティア活動を周知するために様々な催事を行いました。

ア 環境美化活動

(ア) 期 日 平成25年11月16日(土)

(イ) 場 所 辛島公園、サンロード新市街、下通アーケード周辺

(ウ) 参加者 延べ600名

イ 市民ボランティアパレード

(ア) 期 日 平成25年11月23日(土)

(イ) 場 所 サンロード新市街～下通アーケードダイエー城屋前

(ウ) 参加者 約300名

ウ ボランティア講演会

(ア) 期 日 平成25年11月23日(土)

(イ) 場 所 熊本交通センターホテル3階大ホール

- (ウ) 講 師 宮川大助・花子氏
- (エ) 参加者 約310名
- エ ボランティア情報交換会（ボランティアウィークパーティー）
 - (ア) 期 日 平成25年11月23日（土）
 - (イ) 場 所 熊本交通センターホテル3階レストラン
 - (ウ) 参加者 約80名
- オ ボランティアの広場（ボランティアステージ）
 - (ア) 期 日 平成25年11月24日（日）
 - (イ) 場 所 熊本交通センターホテルセンターコート

2 地域ボランティアの育成

(1) ボランティアコーディネーター連絡協議会

<事業内容>

ボランティアコーディネートを担当する専門職員を集め、ボランティアコーディネーターに関する共通理解と関係機関相互の研修会及びケース検討会を開催しました。

ア 第1回ボランティアコーディネーターケース検討会

- ・日 時 平成26年1月15日（水）
- ・場 所 くまもと県民交流館パレア
- ・内 容 ボランティア受入マニュアル作製
- ・参加者 12名

イ 第2回ボランティアコーディネーターケース検討会

- ・日 時 平成26年2月19日（水）
- ・場 所 熊本市国際交流会館
- ・内 容 困難ケースについて、社協ボラセンとの意見交換
- ・参加者 12名

ウ 第3回ボランティアコーディネーターケース検討会

- ・日 時 平成26年3月12日（水）
- ・場 所 くまもと県民交流館パレア
- ・内 容 まとめ
- ・参加者 12名

(2) ボランティアコーディネーター養成研修

<事業内容>

ボランティア活動に対する市民の理解と関心が高まる中、ボランティア活動を希望する人とボランティアを求める人が増加しています。このような中、各関係機関（福祉施設・病院等）においてボランティア担当者が配置されているが、専門的な知識と技術の向上を目的とした研修会を開催しました。

〔参加者〕 38名

ア 第1回ボランティアコーディネーター研修会

- ・日 時 平成25年6月12日（水）
- ・場 所 ウェルパルクまもと1階大会議室
- ・内 容 昨年ボランティアコーディネーター養成研修に参加して

- イ 第2回ボランティアコーディネーター研修会
 - ・日 時 平成25年7月25日(木)
 - ・場 所 ウェルパルクまもと1階大会議室
 - ・内 容 受け入れ施設としての傾聴ボランティアについて学ぶ
- ウ 第3回ボランティアコーディネーター研修会
 - ・日 時 平成25年9月25日(金)
 - ・場 所 熊本第一病院多目的ホール
 - ・内 容 ボランティア活動者との意見交換
- エ 第4回ボランティアコーディネーター研修会
 - ・日 時 平成25年10月26日(土)
 - ・場 所 熊本第一病院多目的ホール
 - ・内 容 ボランティアコーディネートの実践
- オ 第5回ボランティアコーディネーター研修会
 - ・日 時 平成25年11月27日(水)
 - ・場 所 熊本市国際交流会館大広間A・B
 - ・内 容 まとめ

(3) ボランティアアドバイザー相談員研修

<事業内容>

ボランティアセンター職員とボランティア・アドバイザー(相談員)が、より一層の連携を図り、ボランティアセンターとボランティア活動者をつなぐボランティア相談員として資質向上を図ることを目的に開催しました。

- ア 期 日 平成26年1月23日(木)
- イ 場 所 熊本交通センターホテル6階「朝顔」
- ウ 参加者 20人

(4) ボランティア登録・相談コーナーの開設

<事業内容>

ボランティア活動に対する市民の理解と関心が高まる中、ボランティア活動に参加したいと思っている人々や、既にボランティア活動をしている人に対して、日常的な相談や助言を行い、ボランティアセンターとのパイプ役となるボランティア・アドバイザーが相談員として活動しました。

- ア くまもと県民交流館パレア「ボランティア登録・相談コーナー」
 - ・相談日 毎週金曜日 13時～16時
 - ・場 所 くまもと県民交流館 9階パレアルーム
 - ・相談員 5名
- イ 熊本市市民活動センター「あいぼーとボランティア登録・相談コーナー」
 - ・相談日 毎週水曜日 13時～16時
 - ・場 所 市民活動支援センターあいぼーと フリースペース内
 - ・相談員 8名

(5) くまもと学生ボランティアネットワーク事業

<事業内容>

ボランティア活動に興味がある大学生(30歳以下の社会人含む)が、ボランティア活動を実践しながら他大学間交流と学生同士のつながりを通して、

地域社会に貢献しながら国際交流活動や災害ボランティア研修会等にも積極的に参加しました。

ア くまもと学生ボランティアネットワーク総会

- ・期 日 平成26年3月1日(土)
- ・場 所 熊本市国際交流会館4階 第2会議室
- ・参加者 25名(熊本学園大学、熊本大学、熊本県立大学、東京アカデミー熊本校、社会人、中国留学生他)

(6) 災害ボランティア事業

<事業内容>

災害ボランティア登録者に対し、「熊本市総合防災訓練」や各地域で実施している防災訓練に積極的に参加することで、災害ボランティアとしての資質向上を図りました。また、各地域(校区)ごとに災害ボランティアネットワークを組織化するため、災害ボランティアリーダー養成研修会(防災士会・隊友会・減災型地域社会のリーダー養成プログラム〔熊本大学、熊本県立大学、熊本学園大学、熊本保健科学大学共催〕)を開催するとともに、災害時の減災と災害時要援護者支援事業等に対する福祉分野における支援ネットワークづくりの構築に努めました。

また、昨年8月に発生した山口県豪雨災害において、山口県萩市に本会職員2名を派遣し、被災地での支援活動等を展開しました。

ア 熊本市総合防災訓練

- ・期 日 平成25年5月15日(水)
- ・場 所 白川小島橋下流右岸
- ・参加者 2,000名(本会職員11名)
- ・参加団体 小島校区社会福祉協議会、熊本看護専門学校、熊本大学「熊助組」、なんさんする会 他
- ・内 容 震災時における炊き出し訓練、避難誘導訓練等

イ 防災・減災シンポジウムin熊本

- ・期 日 平成25年5月28日(火)
- ・場 所 森都心プラザ
- ・主 催 減災型社会システム実践研究教育センター
- ・参加者 250名(本会職員1名)

ウ 熊本市まなぼうさい

(7) 第16回

- ・期 日 平成25年9月8日(日)
- ・場 所 御幸公園
- ・参加者 400名(御幸校区住民及び防災関係機関)
(本会職員11名)
- ・内 容 避難訓練、パネル展示、救急救命法、非常食の炊き出し

(イ) 第17回

- ・期 日 平成25年11月30日(土)
- ・場 所 桜木小学校
- ・参加者 350名(桜木・桜木東校区住民及び防災関係機関)

(本会職員7名)

・内 容 避難訓練、パネル展示、救急救命法、非常食の炊き出し
エ 熊本市水防災行事

- ・期 日 平成25年9月29日(日)
- ・場 所 白川泰平橋左岸
- ・参加者 700名(本会職員3名)
- ・内 容 防災関係機関連絡協議会によるパネル展示及び車両展示、炊き出し訓練、ボランティア登録コーナーの設置

オ 福祉避難所連携訓練

- ・日 時 平成25年10月12日(土)
- ・場 所 熊本市社会福祉協議会3階大会議室
- ・参加者 職員12名
- ・内 容 行政、施設、社協による専門性を伴う災害ボランティア派遣訓練(図上訓練)

カ 鹿児島北薩地区5市町社協災害支援視察研修受け入れ

- ・日 時 平成25年11月20日(水)
- ・場 所 熊本市社会福祉協議会2階会議室
- ・参加者 20名
- ・内 容 九州北部豪雨災害に伴う災害ボランティアセンター運営及び意見交換等

キ 熊本市防災関係機関連絡協議会防災視察研修会

- ・日 時 平成26年1月24日(金)
- ・場 所 福岡県八女市(矢部川堤防)、九州地方整備局 他
- ・参加者 20名(本会職員2名)

ク 第2回くまもと災害ボランティア研修会in植木

- ・日 時 平成26年2月22日(土)
- ・場 所 植木文化センター 多目的ホール・研修室
- ・参加者 180名(本会職員9名)
- ・参加団体 日本防災士会熊本県支部、熊本大学、熊本県立大学、なんさんする会、植木町ボランティア連絡協議会 他
- ・内 容 DIG(災害図上訓練)、非常食の炊き出し訓練 等

(7) 傾聴ボランティア養成講座

<事業内容>

近年、地域社会において孤立しがちな人たちの悩みの聞き役となる「傾聴ボランティア」への関心が高まってきています。

このような中、ボランティアセンターでは、心に悩みを抱えた方々を支えるボランティアの育成を目的に「傾聴ボランティア養成講座」を開催し、講座を受講された方々が、市内5つの福祉施設でボランティアとして活動されています。

ア 上期養成講座

<参加者38名>

第1回目 平成25年7月18日(木)「傾聴とは(傾聴の基本)」

- 第2回目 平成25年7月25日(木) 「聴く」と「聞く」の違い
- 第3回目 平成25年8月5日(月) 「傾聴の基本と傾聴スキルの使い方」
- 第4回目 平成25年8月19日(月) 「認知症への介護が楽になる傾聴の技術」
- 第5回目 平成25年8月26日(月) 「活動についての注意事項」

イ 下期養成講座

<参加者34名>

- 第1回目 平成26年1月15日(水) 「傾聴の意味と基本的な心構え」
- 第2回目 平成26年1月22日(水) 「傾聴モードで聴く」
- 第3回目 平成26年1月29日(水) 「よい傾聴とは」
- 第4回目 平成26年2月5日(水) 「認知症高齢者及び介護者の傾聴」
- 第5回目 平成26年2月12日(水) 「振り返り・発表」

(8) 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座

<事業内容>

視覚障がい者の方は日々の買い物に行けない、行事に参加できないなど、一人で行動ができない方が大勢おられます。視覚障がい者の方の歩行の不自由さを他の方法で補うということは非常に難しく一番安全で簡単な方法はガイドによる歩行です。

行動に不安を抱える方々を支えるガイドボランティアの育成を目的に「視覚障がい者ガイドボランティア養成講座」を開催し、人材確保と相談に応じる体制づくりを行いました。

会 場 くまもと県民交流館パレア、熊本市障がい者福祉センター希望荘

参加者 20名

- 第1回目 平成25年 9月17日(火) 視覚障がい者の理解
ガイドボランティアの心構え
- 第2日目 平成25年 9月24日(火) 目の不自由な方の講話 初めてのガイド
- 第3日目 平成25年 9月30日(月) 介護技術(室内・外歩行・乗物)
- 第4日目 平成25年10月 9日(水) 介護技術(乗物・電車・バス)

(9) 熊本市介護保険サポーター・ポイント制度事業(熊本市受託事業)

<事業内容>

高齢者による介護保険施設等での支援活動に評価ポイントを付与することにより、支援活動を促進し社会参加や地域貢献を通じて支援者(サポーター)自身の介護予防の推進といきいきとした地域づくりを図ることを目的に事業を実施しました。

[サポーター登録者]

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度
登録者数	206	199

事業実施説明会実施日 平成25年5月27日(月) ウェルパルクまもと
平成25年5月30日(木) ウェルパルクまもと

Ⅲ 住民主体の地域福祉活動のための仕組みづくり

1 地域資源の活用・連携

(1) 熊本市老人福祉施設協議会とのワークショップ

熊本市老人福祉施設協議会所属の62の施設との連携強化と地域における福祉活動・ボランティア活動を推進するための基盤づくりを行いました。計4回のワークショップを行い、熊本市社会福祉協議会と熊本市老人福祉施設協議会相互の機能と役割を活かした福祉活動及びボランティア活動の実践に取り組みました。

(2) 希望荘成人式

<事業内容>

障がいのある方の成人をお祝いすることを目的とし、希望荘成人式を開催しました。

ア 期 日 平成26年1月13日（月）

イ 会 場 ウェルパルクまもと

ウ 参加者 62名

福祉サービス利用支援部門

I 利用者の権利を守る公共性・中立性の高い専門相談機能の充実

1 福祉サービス利用援助事業

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

<事業内容>

熊本市内で在宅生活を送られる判断能力が十分でない認知症高齢者、精神障がい者、知的障がい者等に対して、契約に基づき「福祉サービス利用援助」「日常的金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」等の支援を行っております。

利用者が在宅で安心して暮らせるよう、支援内容の充実及び関係機関との連携を図りながら支援を行いました。

〔利用者数〕

（単位：人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
認知症 高齢者	85	82	76
知的 障がい者	18	21	24
精神 障がい者	24	26	38
その他	6	6	6
保護世帯 (再計)	(74)	(75)	(84)
合 計	133	135	144

* その他は、認知症や知的障がい・精神障がいと明確に区分出来ない方を言う。

〔サービスの内容別件数〕

(単位：件)

区 分	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合 計
福祉サービス 利用援助	801	302	203	113	1,419
日常的金銭管 理サービス	2,614	1,563	1,016	211	5,404
書類等預かり サービス	293	120	120	48	581
				総合計	7,404

〔相談援助件数〕

(単位：件)

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合 計
相談援助件数	3,432	1,044	2,635	319	7,430

(1) 地域福祉権利擁護事業契約締結審査会の開催

- ア 開催回数 12回
- イ 新規契約審議件数 31件
- ウ 解約・終了報告件数 19件

(2) 地域福祉権利擁護事業会議、研修

- ア 平成25年度都道府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業所長会議
 - ・期 日 平成25年5月31日
 - ・会 場 全国社会福祉協議会灘尾ホール
 - ・参加者 1名
- イ 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修Ⅰ
 - ・期 日 平成25年7月23日～24日
 - ・会 場 全国社会福祉協議会灘尾ホール
 - ・参加者 1名
- ウ 第11回高齢者・障がい者権利擁護の集い
 - ・期 日 平成25年11月22日
 - ・会 場 ホテル日航熊本
 - ・参加者 2名
- エ 第9回権利擁護・虐待防止セミナー
 - ・期 日 平成26年2月21日
 - ・会 場 全国社会福祉協議会灘尾ホール
 - ・参加者 2名
- オ 熊本県地域福祉権利擁護事業実施機関連絡会議
 - ・第1回 平成25年7月5日 参加者2名
 - ・第2回 平成26年3月7日 参加者3名

(3) 地域生活支援員研修会の実施

ア 地域生活支援員養成研修

- ・第1回 平成25年6月28日開催 受講者数1名
- ・第2回 平成26年1月25日開催 受講者数3名

イ 熊本県地域福祉権利擁護事業生活支援員等研修会

- ・開催日 平成25年9月4日
- ・参加者 15名

ウ 地域生活支援員現任者研修

- ・開催日 平成26年1月15日
- ・参加者 23名

2 法人後見受任について

(1) 第1回市民後見人養成講座（熊本市受託事業）

住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるよう、判断能力が不十分な人の権利と財産を保護する「成年後見制度」の担い手として、地域住民の視点で支援を行える「市民後見人養成講座」を開催しました。

- ・期日 平成25年10月26日～平成26年3月15日 10日間
- ・受講者数 16名
- ・終了者数 14名

(2) 法人後見事業の実態調査

熊本県内10社会福祉協議会に対して調査を行いました

(3) 法人後見に向けての視察

ア 山鹿市社会福祉協議会成年後見センター視察

- ・期日 平成25年7月26日
- ・参加者 2名

イ 埼玉県志木市社会福祉協議会、東京都品川区社会福祉協議会視察

- ・期日 平成25年12月18日～19日
- ・参加者 2名

(4) 成年後見事業に関する会議、研修

ア リーガルサポートによる成年後見制度についての研修会

- ・期日 平成25年10月19日
- ・参加者 2名

イ 家事関係機関との連絡協議会

- ・期日 平成25年11月7日
- ・参加者 1名

ウ 熊本県成年後見制度利用促進研修会

- ・期日 平成25年11月8日
- ・参加者 1名

エ 平成25年度法人後従事者養成研修会

- ・期日 平成25年11月21日～12月6日 5日間
- ・参加者 2名

3 相談・貸付事業の効果的な運営

(1) 生活福祉資金

<事業内容>

低所得世帯、障がいを持つ人や介護を要する高齢者が同居している世帯に対して、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図るため、民生委員・児童委員と連携を図りながら事業の推進に努めました。また、制度の周知を図るため、民生委員・児童委員を対象に研修会を実施しました。

〔貸付件数及び貸付金額〕 (単位 上段：件/下段：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
貸付件数	255	215	94
貸付金額	101,675	87,892	46,116

(2) 福祉金庫

<事業内容>

生活保護世帯や生活困窮世帯に対し、自立に向けた手段の一つとして、一時的な小口貸付を行いました。

また、滞納者に対しては、償還督促を行い返済を促すとともに、不納欠損処分を審議する福祉金庫貸付審査会開催し債権整理を行いました。

〔貸付件数及び貸付金額〕 (単位 上段：件/下段：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
貸付件数	109	159	136
貸付金額	5,538	8,485	8,281

その他の事業

1 日本赤十字社熊本県支部熊本市地区本部事業

<事業内容>

(1) 日赤社資募集運動

5月の「赤十字運動月間」にあわせ、「赤十字社員増強運動」への協力を実施しました。

(2) 災害救援物資の配布

火災、水害等の罹災者に対して、自治会長を通じて救援物資の配布を行いました。

2 社会福祉援助技術等の実習生受け入れ

大学等で学んだ専門的な知識や技術を、社会福祉協議会における現場実習を通して具体的かつ实际的に理解すると同時に、実践的な援助技術や様々な福祉実践に対して適切に対応できる能力の習得に寄与することを目的に実習生の受け入れを行いました。

(1) 中学生インターンシップ（職場体験学習）における研修生

期間 平成25年5月21日（火）～24日（金）

学校名・人数 熊本学園大学付属中学校 2年生 1名

(2) 地域看護実習（地域包括支援センター実習）における研修生

期 日 平成25年6月6日（木）～7日（金）

学校名・人数 熊本保健科学大学 看護学科2年生 1名

(3) 日韓グローバルインターンシップ・プログラム（G I P）事業における国際交流研修生

期 日 平成25年6月10日（月）～平成25年8月16日（金）

学校名・人数 永進専門大学（韓国）日本語学科2年生 2名

3 車いす貸出事業

在宅において車いすが必要な高齢者、障がい者、疾病等で歩行困難な方及び学校等で行う車いす体験に対し、短期間無料で貸出を行いました。

〔車いす貸出数〕

（単位：台）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
貸出数	204	146	165

南区事務所における事業（旧富合町社協関係）

1 老人憩の家管理運営事業

<事業内容>

富合町木原にある、富合町老人憩の家を熊本市富合町合併特例区より受託し、高齢者の教養の向上や交流の場として利用者の増加に努めました。

〔利用状況〕

（単位：人）

	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	個人	団体所属	個人	団体所属	個人	団体所属
利用者数	2,832	465	3,366	348	2,168	135

*平成25年度は受託事業終了に伴い、平成25年10月5日までの利用者数

2 富合校区社会福祉協議会の支援

- (1) 新生児お祝い図書カード贈呈事業
- (2) 新入学児童への黄色い帽子贈呈事業
- (3) 新入学児童への図書カード贈呈事業
- (4) 中学入学祝い図書カード贈呈事業
- (5) 亡くなられた方への香典及び弔電
- (6) 富合町戦没者追悼慰霊祭
- (7) 富合校区社協賛助会費（住民会費）
- (8) 富合校区金婚表彰・敬老会
- (9) 富合校区社協長杯グランドゴルフ大会
- (10) ひとり暮らし老人等菓子及び弁当配布事業
- (11) 年末餅配布事業
- (12) 富合校区社協杯囲碁・将棋大会
- (13) J R 富合駅開業記念ウォークラリーへの協力

3 富合心配ごと相談所

実施日：毎月第2火曜日 午後1時から4時まで

相談日数：10回 相談件数：3件

南区城南支所における事業（旧城南町社協関係）

1 在宅寝たきり老人等介護者手当事業

＜事業内容＞

常時介護を必要とする高齢者及び障害者を、在宅介護している方々に対し、介護者手当を支給しました。

〔支給対象者 26名〕

2 ワークキャンプの開催

＜事業内容＞

城南町域の児童、生徒を対象に、夏休みを利用し、高齢者や障がい者との交流や介護の体験学習を通して福祉に関心を持ってもらい、更には清掃ボランティアにも参加するなど人間形成の育成に役立つよう実施しました。

参加者：小学校3校・中学校1校の計122名

協力団体：町内社会福祉施設5か所

3 福祉まつり事業（合併特例区事業）

平成25年9月14日（日）、火の君文化センター内外で食バザーによる、おにぎり等の配食や障がい者福祉施設の利用者が劇を披露し約700名の方が参加されました。

4 城南町校区社会福祉協議会の支援

- (1) ふれあい・いきいきサロン事業
- (2) 金婚夫婦祝い事業
- (3) 100歳祝い事業
- (4) 一人暮らし高齢者弁当配布事業（年2回実施）
- (5) ひとり親世帯一日旅行
- (6) 在宅介護者のつどい事業
- (7) 校区社協長杯グランドゴルフ大会
- (8) 一人暮らし高齢者ふれあい招待昼食会事業
- (9) 一人暮らし高齢者年末赤飯配布事業
- (10) 在宅寝たきり高齢者等年末見舞い事業
- (11) 男性料理教室

5 各種団体への参加及び協力

- (1) 城南町ボランティア連絡協議会
 - ・代表者会への出席（年2回実施）
 - ・各ボランティア団体行事への参加
- (2) 城南地区民生委員児童委員協議会
 - ・役員会・定例会への参加及び協力
- (3) 城南町老人クラブ連合会
 - ・大会への出席
 - ・シルバーヘルパー研修会への支援
- (4) 城南町障がい者福祉協議会
 - ・総会・交流会への参加

- ・ グランドゴルフ大会への参加
- ・ 役員会への出席（随時）
- (5) 城南町母子会
 - ・ 総会への出席
 - ・ 一日旅行への参加
- (6) 城南町嘱託員会
 - ・ 定例会議への出席
- (7) 城南学園・第二城南学園
 - ・ 運動会への参加
 - ・ 収穫祭バザー出店に伴う協力
 - ・ お楽しみ会への出席

北区事務所における事業（旧植木町社協関係）

1 緊急資金貸付事業（償還業務のみ）

<事業内容>

生活困窮等の理由により、一時的に資金を要する方に資金の貸付を行い、生活の自立更生を図ることを目的に資金の貸付を実施していた事業の償還業務を実施しました。

2 高額医療費貸付事業（償還業務のみ）

<事業内容>

高額医療の支払いが困難な方に対して、資金貸付（立替払い）を行い地域住民の福祉向上を図ることを目的とした事業の償還業務を実施しました。

3 ボランティア事業

地域住民の福祉ニーズが多様化している今日において、ボランティア活動は不可欠であります。ボランティア活動の推進をはじめボランティアの育成を目指し、ボランティア登録者の資質向上を目的としてボランティア事業を実施しました。

4 植木町ボランティア連絡協議会への支援

(1) 定例会の開催

ボランティア連絡協議会加入 14 団体による代表者会の開催

- ①平成 25 年 4 月 5 日（金）
- ②平成 25 年 5 月 17 日（金）（総会）
- ③平成 25 年 8 月 9 日（金）
- ④平成 25 年 10 月 18 日（金）
- ⑤平成 26 年 1 月 17 日（金）

(2) 活動実績

- ①環境美化活動・花植え活動
- ②第 7 回火の国ボランティアフェスティバル八代への参加
（平成 25 年 10 月 5 日（土）～ 6 日（日））
- ③第 2 回くまもと災害ボランティア研修会 in 植木への参加

5 障がい者福祉事業

<事業内容>

植木地区障がい者団体によるグラウンドゴルフ大会支援

- ・期 日 平成25年6月30日(日)
- ・会 場 植木町温泉福祉交流館「風の湯」芝生公園
- ・内 容 身体障がい者福祉協会、手をつなぐ育成会、精神障がい者家族会と連携し、グラウンドゴルフを通じて障がい者の方々の交流を目的とした大会に協力しました。

6 ふれあい相談事業

<事業内容>

日常生活を営むうえでの各種相談に応じ、適切な指導助言を行うとともに社会資源を有効に活用し、行政機関や専門家の指導協力を得ながら相談者の心配ごとを解消し、在宅福祉サービスの推進を図ることを目的とし、毎週木曜日の午前10時から正午まで、北区事務所相談室において実施しました。

7 奨学資金貸付事業(償還業務のみ)

<事業内容>

植木町内に保護者が居住する子どもで、向学心に富み身体強健、学業人物とともに優秀でかつ、経済的理由により修学困難な者に資金を貸付け、その福祉増進と郷土社会を育成することを目的に貸付を実施していた事業の償還業務を実施しました。

介護保険事業所における事業

1 居宅介護支援事業

<事業内容>

要介護状態にある高齢者等からの相談に応じ、介護支援専門員が適切な居宅サービスが利用できるよう、ケアプランを作成し、関係機関との連絡調整等を行いました。

〔富合介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	431	545	607
月平均利用者数	35	45	50

※介護予防のケアプラン作成も含む。

〔植木介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	1,294	1,359	1,459
月平均利用者数	107	113	121

※介護予防のケアプラン作成も含む。

2 訪問介護事業

<事業内容>

要介護状態にある高齢者等に、訪問介護員を派遣し、利用者の有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、生活全般にわたる援助を行いました。

〔富合介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	357	339	333
月平均利用者数	29	28	27

※介護予防訪問介護も含む。

〔植木介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	1,051	979	910
月平均利用者数	87	81	75

※介護予防訪問介護も含む。

3 訪問入浴事業

＜事業内容＞

自宅の浴槽で入浴が困難な寝たきりの高齢者に対して、看護師1名及び訪問介護員2名の3人1組で、自宅の寝室の横で入浴ができる特殊浴槽を積んだ訪問入浴車で自宅を訪問し入浴介護を実施しました。

〔植木介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	97	74	40
月平均利用者数	8	6	3

※介護予防訪問介護も含む。

4 障がい者自立支援事業

＜事業内容＞

障がい者自立支援法に基づき、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、居宅において介護の援助を行うことにより、利用者の心身機能が維持できるように、障がい者自立支援法に基づいた訪問介護事業を実施しました。

〔富合介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	5	0	0
月平均利用者数	1	0	0

〔植木介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	250	258	204
月平均利用者数	20	21	17

5 熊本市養育支援家庭訪問事業（熊本市受託事業）

＜事業内容＞

熊本市養育支援家庭訪問事業実施要領に基づき、養育者が産後ストレスや産後うつ等の状態で養育支援が必要と認められる家庭へホームヘルパーを派遣し、

当該家庭の育児並びに家事を行い、適切な養育が図れるよう支援しました。

〔富合介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	0	1	4
月平均利用者数	0	1	0.3

6 熊本市産後ホームヘルプサービス事業（熊本市受託事業）

＜事業内容＞

熊本市産後ホームヘルプサービス事業実施要綱に基づき、出産した母親の体調不良等で家事や育児が困難な家庭へホームヘルパーを派遣し、家事並びに育児の支援を行いました。

〔植木介護保険事業所における利用状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者総数	0	0	1
月平均利用者数	0	0	1

南6地域包括支援センター（熊本市高齢者支援センター ささえりあ火の君）事業

1 総合相談・支援業務の実施状況

※ 新予防給付（要支援1・2ケアプラン）に関する活動は含まない。

〔相談件数等（実件数）〕

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
電話相談	197	274	290
来所相談	109	167	188
訪問相談	101	231	256

2 各種研修会等の開催状況

(1) 民生委員等研修会

- ・期 日 平成25年5月22日
- ・内 容 「障がい者サービス等について」
- ・参加者 16名
- ・期 日 平成25年6月29日
- ・内 容 「夏に多い事故～その予防と対処法～」
- ・参加者 50名
- ・期 日 平成25年7月10日
- ・内 容 「障がい者相談支援センターの役割について」
- ・参加者 16名
- ・期 日 平成25年11月15日
- ・内 容 豊田校区の課題について
- ・参加者 15名
- ・期 日 平成26年1月27日
- ・内 容 事例検討会

- ・参加者 24名
 - ・期 日 平成26年2月26・27日
 - ・内 容 くまもとG P Map を活用した講座
 - ・参加者 30名
- (2) 火の君地域講座
- ・期 日 平成26年3月15日
 - ・内 容 認知症家族の体験談
 - ・参加者 45名程度
- (3) 家族介護教室開催 6回
- (4) 認知症サポーター養成講座 2回
- (5) 城南よぼうクラブ開催 9回
- (6) 介護支援専門員の日常業務に関する個別指導、相談数 301件
- (7) 支援困難事例等への個別指導、相談 465件
- 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の実施状況
- (1) 地域との連携体制づくりに向けて、地域組織・団体等の定例会議
- ア 城南地区民生委員児童委員会 3回
 - イ みなみ社協長会 6回
 - ウ グループホーム永の郷地域運営推進会議 5回
 - エ 城南町老人福祉センター運営委員会 3回
 - オ 特定施設山吹運営推進会議 3回
 - カ 城南交番（情報交換） 65回（定期的な情報交換会以外の打合せ等も含む）
 - キ 城南地区市立幼小中学校校長会 1回
 - ク 熊本市民生委員児童委員協議会南区会長会定例会 2回
 - ケ 小規模多機能型居宅介護支援事業所ひなぎく地域運営推進会議 6回
 - コ 地域密着型介護老人福祉施設はるの里地域運営推進会議 4回
 - サ グループホーム城南スマイル運営推進会議 5回
 - シ 下益城郡医師会・在宅医療連携会議 3回
 - ス 南区在宅医療・介護に関わる多職種連携世話人会 1回
- (2) 各種地域行事
- ア 萱木・陳内・今・塚原・舞原・土鹿野・築地・南藤山・二の町・鰐瀬・柿の木・坂本サロン 吉野老人会 21回
 - イ 介護支援専門員及びサービス事業所等向けの研修会開催
 - (ア) 「多様化する高齢者施設について～ニーズにあった施設を選ぶために」
 - ・期 日 平成25年5月21日
 - ・講 師 熊本県特定施設入居者生活介護事業者連絡協議会
会長 藤井泰彰氏
 - ・参加者 50名
 - (イ) 「熱中症について」
 - ・期 日 平成25年7月17日
 - ・講 師 城南病院 外科部長 高井英二氏
 - ・参加者 40名

(ウ) 「専門職種から見る成年後見制度とは？」

- ・期 日 平成25年10月23日
- ・講 師 宮田総合法律事務所 弁護士 森枝大輔氏
- ・参加者 33名

(イ) 「事例から学ぶ成年後見制度」

- ・期 日 平成26年3月19日
- ・講 師 宮田総合法律事務所 弁護士 森枝大輔氏
アステル法律事務所 弁護士 宮崎耕平氏
- ・参加者 24名

4 介護予防サービス計画書の作成状況

(1) 新予防給付

〔介護予防サービス計画作成の委託状況〕

	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
地域包括支援センターで作成	516	45	433	31	414	29
居宅介護支援事業所に委託	628	55	941	69	1,028	71
合 計	1,144	100	1,374	100	1,442	100

養護老人ホーム愉和荘における事業

＜事業内容＞

入所者の方々が、家庭的な雰囲気の中で安定した生活や一人ひとりの身体能力に応じた支援の中で、楽しく日常生活が過ごせるように保健・福祉・医療の関係機関と密接な連携を取りながら支援強化を図り質の高い処遇計画のもとに支援を行いました。

また、介護保険制度の改正により介護が必要な方においては介護保険と並行し適した処遇計画を作成し支援しました。

〔入所者状況〕

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
平均入所者数	49	49	46

〔年齢層状況〕

年 齢	男性	女性	合計
60歳以上69歳以下	—	1名	1名
70歳以上79歳以下	2名	7名	9名
80歳以上89歳以下	8名	10名	18名
90歳以上99歳以下	2名	15名	17名
100歳以上	—	1名	1名
合 計	12名	34名	46名

〔レクリエーション開催状況〕

開催日	活動内容	参加者数
第2・第4月曜日	民謡教室	1回につき13名
第1火曜日	健康体操	1回につき23名
毎週金曜日	カラオケ・風船バレー	1回につき18名

〔介護保険の状況〕

要介護度	男性	女性	合計
要支援1	0名	1名	1名
要支援2	1名	1名	2名
要介護1	4名	13名	17名
要介護2	2名	5名	7名
要介護3	0名	5名	5名
要介護4	1名	2名	3名
要介護5	0名	0名	0名
合計	8名	27名	35名